



▲表彰を受けた(株)石塚建設(前列中央)(有)西部建設工業(前列中央左)坂東工業(株)(前列左2人目)

優良建設業者表彰

9月20日、平成28年度優良建設業者表彰式が開催され、昨年度に完成した工事129件のなかから特に優秀だった、辺田地内の道路改良工事をした株式会社石塚建設、生子新田地内の道路災害復旧工事をした有有限会社西部建設工業及び観光交流センター「秀緑」本蔵改修工事をした坂東工業株式会社表彰を受けました。

この表彰は、市が発注した工事を適正に施工し、優良な成績で完成した業者を表彰するものです。

子育て応援コラム Vol.2

坂東市 モーハウス

赤ちゃんにも社会性？

前回は、自己紹介というところで、私たちが考えるラクな子育ての「コツ」「社会とつながる子育て」についてお話ししました。でも、「社会とつながるなんて、赤ちゃんのうちから必要なの？」と思われるかたもいらっしゃるかもしれません。

そこで、先日新幹線で会ったある母娘のことをご紹介したいと思います。生後半年くらいの赤ちゃんを連れてママが私の隣に座りました。すると、そのママは、赤ちゃんの顔が私に見えるようにしたのです。赤ちゃんもここにこし

ながら私の顔を見ています。思わず「赤ちゃんかわいいですね、何か月ですか？」と声をかけてしまいました。

そこからおしゃべりが始まり、気がつけば私は「ちよつと抱っこさせてもらってもいいですか？」とまで言っていたのです。赤ちゃんも慣れていて、私や娘に抱っこされても、ここにこしています。私も母娘も気分よく、到着までの1時間、ずっと和やかに過ごせました。

一方で、「子連れでたいへんそうなママを見て、あやしめてあげようとしたら、子どもが泣き出してしまった。」という体験をしたこともあります。こんなことがあると、私の顔は子どもに怖がられる顔なの？もう赤ちゃんに声をかけるのはやめようかな。と思っ

てしまいます。どうしてこんなに違いがあるのでしょうか。そして、どちらのママがラクができるで

しょうか。もちろん赤ちゃんの個性にもよりますが、多くの場合、その子がどのように育ってきたのかによるところが大きいと、私は思います。

私たちの会社モーハウスでは、子連れ出勤という働き方をしています。赤ちゃんを抱っこしながら働くので、赤ちゃんはお客様や他のスタッフと触れ合いながら過ごしています。モーハウスで育った子どもたちがとても人懐っこいのは、このような環境が、赤ちゃんの社会スキルを高めているのではないかと感じます。

ちなみに、最初にご紹介した新幹線の母娘。そのスキルの高さに、てっきり私は、モーハウスの授乳服のユーザーさんに違いない！と思ったのですが、実は4世代同居で、おじいちゃん、おばあちゃんや大おばあちゃん、近所の人にまで助けてもらって子育てをしているとのこと。まさに、家庭内に社会を持っているケースでした。